

厳格な水際取締り

- 輸入貨物や訪日外国人旅客等が増加する中、爆発物等のテロ関連物資の国内流入を阻止するため水際取締りを強化。
- 2025年以降、大阪・関西万博等の国際イベントが開催されるため、更なる水際取締りの強化が求められているところ、引き続き、警察等の関係機関や民間の関係業界団体と連携したテロ対策を推進。

＜税関検査で発見された不審貨物の例＞

※各画像はイメージ

刀剣類



玩具銃



ガスマスク



クロスボウ



- 不正な資金の流れを絶つことも重要。昨今、マネーロンダリング対策の重要性が強調される中、国際的に国境でのキャッシュクーリエ対策の強化が求められている。
- これまでの警察や保安検査員との連携を通じた取締体制の強化に加え、多額の現金の海外への不正な持ち出しに対する水際措置として、**紙幣探知犬（カレンシードッグ）を導入（2024年8月）**するなど、出国旅客に対する携帯品検査の強化を推進。



＜プレス公開の様子＞
デモンストレーション



紙幣探知犬のライラックス号（左）とトリ号（右）